

平成23(ヨ)第29号 仮処分命令申立事件

債権者 A1ほか13名

債務者 郡山市

証拠説明書(5)

2011年9月12日

福島地方裁判所郡山支部民事部 御中

債権者ら訴訟代理人弁護士 柳原 敏夫

書証(甲64~69)

甲	標目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨	備考
64 の1 ~2	論文「ウクライナ・ル ギヌイ地区住民の健康 状態」今中哲二編 「チェルノブイリ事故 による放射能災害 国 際共同研究報告書」所 収	写 1998.10. 20	イワン・ゴ ト レ フ ス キー、オレ グ・ナス ビット	郡山市と汚染度が同程度の地 域(ウクライナのルギヌイ地 区)で、チェルノブイリ事故 以後に子供の甲状腺疾病と甲 状腺腫以外にも多量の健康 被害が生じていること	
65	ETV特集「ネットワー クでつくる放射能汚染 地図3 子どもたちを被 ばくから守るために」 (抜粋)	写 2011.8.28	NHK	子供たち自身に線量計を携行 させ、積算の外部被ばく線量 を測ったところ、モニタリン グ結果(乙9~11)の値よ り2~5倍以上高い値が検出 された。	
66	辞意表明全文	写 2011.4.29	小佐古敏荘	子供たちの健康被害の評価に ついて、初期プリュームのサ ブマージョンに基づく甲状腺 等価線量が重要であること	
67	日本分析センターにお ける空間放射線量率と 希ガス濃度調査結果	写 2011.6.10	日本分析セ ンター	福島原発事故により大気中に 放出された希ガスの量	
68	UNSCEAR2008年報告 書(抜粋)	写 2011	原子放射線 の影響に関 する国連科 学委員会	チェルノブイリ原発事故によ るキセノン133等の放出量	引用は表 のマー カー部分
69	原子力災害時における 安定ヨウ素剤予防服用 に考え方について	写 2002.4	原子力安全 委員会、原 子力施設等 防災専門部 会	甲状腺がんの原因がヨウ素133 による内部被曝及び放射性希 ガスによる外部被曝であるこ と	

以上